一緒に考えよう!未来の公共施設5

【公共施設マネジメントの取組み】



公共施設の老朽化に伴う改修・更新に係る経費が増加し、市の財政を圧迫するおそれがあります。改修・更新のコスト増大を抑制し、市民サービスの低下を招かないよう「公共施設マネジメント」の確立と推進がより必要となります。

本市では、公共施設管理の基本原則を定め、公民館の複合化や学校の統合に取り組んでいます。

計画修繕

公共施設管理の5原則

適正配置

1 施設総量の

2 既存施設の 複合化 計画的な管理運営

4 効率的な 管理運営 市民・民間事業者 との協働

1. 施設総量の縮減

縮減

公共施設全体の総床面積を20年間で20%縮減します。

• 重複している施設や機能(会議室、ホール等)、 稼働率が低い施設の統合・整理

2. 既存施設の複合化

既存施設の大規模改修や更新(建替え)は、複合化を原則とします。

- 施設の統合
- 学校を含めた施設の複合化

3. 計画的な管理運営

施設・設備の点検業務を統一し、計画的な長寿命化と修繕更新を図ります。

- 対症療法的な修繕(事後保全)から計画的な修繕(予防保全)への転換
- 包括管理の手法により点検業務・仕様を統一して行う施設等の計画的な修繕
- バリアフリー化とユニバーサルデザインの推進、再生可能エネルギーの導入

4. 効率的な管理運営

公共施設マネジメントを確立し、トータルコストの縮減・平準化を図ります。

• 複合化による空いた土地や低未利用地の活用・処分を促進

5. 市民・民間事業者との協働

市民や民間事業者との協働により、課題解決に取り組む体制を構築します。

• 情報公開による市民と行政の問題意識の共有と、市民との協働による課題解決

「施設ありき」ではなく、類似した機能を有する施設を統合的に捉え、分野の異なる施設についても、機能面から複合化等のメリットを検討

「重複・余剰・低利用施設」は減らしていく発想で 公共施設マネジメントを推進

公共施設複合化 ⇒小学校内に公民館が移転しました!

① 河間公民館



新公民館 (161.60㎡) 384.85㎡削減 校舎内 公民館会議室

123.67m

旧河間公民館 (546.45㎡)



② 嘉田生崎公民館



③ 五所公民館



新公民館 (187.69㎡) 394.84㎡削減 ※小学校敷地内 に整備

旧五所公民館 (582.53㎡)

複合化の成果

- 公共施設の床面積の削減計1,183.25㎡
- 小学校の余裕教室の有効活用
- 旧公民館跡地利用による駐車場確保
- ・公民館職員及び公民館利用者の見守りに よる児童の安全確保
- 地域コミュニティの持続

学校統合 ⇒明野地区に義務教育学校が誕生します!

明野五葉学園

令和6年4月、現明野中学校の敷地内に、筑西市 初の義務教育学校「明野五葉学園」が開校します。

明野中学校と大村・村田・鳥羽・上野・長讃の5つの小学校を統合して、小中一貫教育を推進するため、施設一体型の義務教育学校を整備します。

併せて、子育て支援のため、敷地内に明野地区放 課後児童クラブ(仮称)を整備します。



学校統合 ⇒下館中学校と下館北中学校が統合します!

生徒数の減少に伴い、よりよい教育環境を目指すため、令和5年4月に統合します。

公共施設の適正配置と計画修繕で、持続可能な筑西市をつくらなきゃね!

将来も必要な公共サービスが受けられるように、 公共施設のあり方を一緒に考えていきましょう!

